

公共工事品確省連絡会議

各省の大臣がこのほど開かれ、公共工事の品質確保の促進に関する関係省連絡会議が開かれた。各省の大臣がこのほど開かれ、公共工事の品質確保の促進に関する関係省連絡会議が開かれた。

今回の会合では「総合評価の徹底」など6項目を整理、了承された。このうち、「総合評価の徹底」など6項目を整理、了承された。1月以降、各省の課長級で持ち、当面取り組むべき

「総合評価の徹底」など 6項目を整理、了承

各省の大臣がこのほど開かれ、公共工事の品質確保の促進に関する関係省連絡会議が開かれた。

今回の会合では「総合評価の徹底」など6項目を整理、了承された。このうち、「総合評価の徹底」など6項目を整理、了承された。1月以降、各省の課長級で持ち、当面取り組むべき

課題として①総合評価の徹底②不良不適格業者の排除、地場産業育成、下請け企業などへのしわ寄せ防止③契約などの片務性の排除、ダントンゲの取引などに対する監視の強化④不当廉売・不公正要請の実施（入札契約書の結果を踏まえた、国、地方公共団体への要請）⑤情報共有のための体制

組織する幹事会で、具体的な実施内容やスケジュールについて検討する。検討の成果は、「早急に改正法に基づく実態調査の結果を踏まえた、国、地方政府長らで構成する「公共工事の品質確保の促進に関する関係省連絡会議」がこのほど開かれ、公共工事の品質確保の促進に関する関係省連絡会議が開かれた。

今回の会合では「総合評価の徹底」など6項目を整理、了承された。このうち、「総合評価の徹底」など6項目を整理、了承された。1月以降、各省の課長級で持ち、当面取り組むべき

課題として①総合評価の徹底②不良不適格業者の排除、地場産業育成、下請け企業などへのしわ寄せ防止③契約などの片務性の排除、ダントンゲの取引などに対する監視の強化④不当廉売・不公正要請の実施（入札契約書の結果を踏まえた、国、地方公共団体への要請）⑤情報共有のための体制

組織する幹事会で、具体的な実施内容やスケジュールについて詳しく述べての発注者に導入するよう、今後の取り組みの中で促していく。また、契約の片務性の排

止の観点では「低入札価格調査の基準」「最低制限価格の適切な設定」なども挙げた。このうち、「総合評価の徹底」など6項目を整理、了承された。このうち、「総合評価の徹底」など6項目を整理、了承された。1月以降、各省の課長級で持ち、当面取り組むべき

課題として①総合評価の徹底②不良不適格業者の排除、地場産業育成、下請け企業などへのしわ寄せ防止③契約などの片務性の排除、ダントンゲの取引などに対する監視の強化④不当廉売・不公正要請の実施（入札契約書の結果を踏まえた、国、地方公共団体への要請）⑤情報共有のための体制

大臣認定構造計算プログラムの早期開発へ

NTTデータの プログラムを仮認定

— 国交省 —

19年6月施行の改正建築基準法は、国土交通大臣が認定したプログラムを使つて構造計算書を作成した申請図書について、構造計算適合性判定機関による審査を簡略化するよう規定した。ところが、構造計算にかかる基準類の整備が遅れるとともに加え、プログラムの不具合で責任が問われる恐れがあることから、ソフト会社で開発作業が進まず、

環境省は、18年度の振動規制法施行状況をまとめた。苦情件数は361件で、前年度と比べ0・4%の増加。このうち、建設作業は22273件と全体の6割以上を占めた。苦情件数全体の都道府県別内訳を上位から見る

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は361件で、前年度と比べ0・4%の増加。このうち、建設作業は22273件と全体の6割以上を占めた。苦情件数全体の都道府県別内訳を上位から見る

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

大臣認定構造計算プログラムの早期開発へ

NTTデータの
プログラムを仮認定

— 国交省 —

19年6月施行の改正建築基準法は、国土交通大臣が認定したプログラムを使つて構造計算書を作成した申請図書について、構造計算適合性判定機関による審査を簡略化するよう規定した。ところが、構造計算にかかる基準類の整備が遅れるとともに加え、プログラムの不具合で責任が問われる恐れがあることから、ソフト会社で開発作業が進まず、

環境省は、18年度の振動規制法施行状況をまとめた。苦情件数は361件で、前年度と比べ0・4%の増加。このうち、建設作業は22273件と全体の6割以上を占めた。苦情件数全体の都道府県別内訳を上位から見る

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

環境省は、18年度の騒音規制法施行状況をまとめた。苦情件数は前年度と比べ4・4%増の1万件、振動の測定192件だった。法に基づく特定建設作業の届出件数は前年度比

九州7県の建設情報をネットワークで結ぶウェブ九州誕生

◆Web九州

福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島の九州7地区の情報を網羅する入札情報配信サービス

◆Web福岡

福岡県内の国・県・市町村の建設関連の情報を網羅する建設ネット

無料体験キャンペーん実施中!! kyusyu@web-kyusyu.com

TEL 092(414)0160 FAX 092(414)0160 URL : http://www.web-kyusyu.com